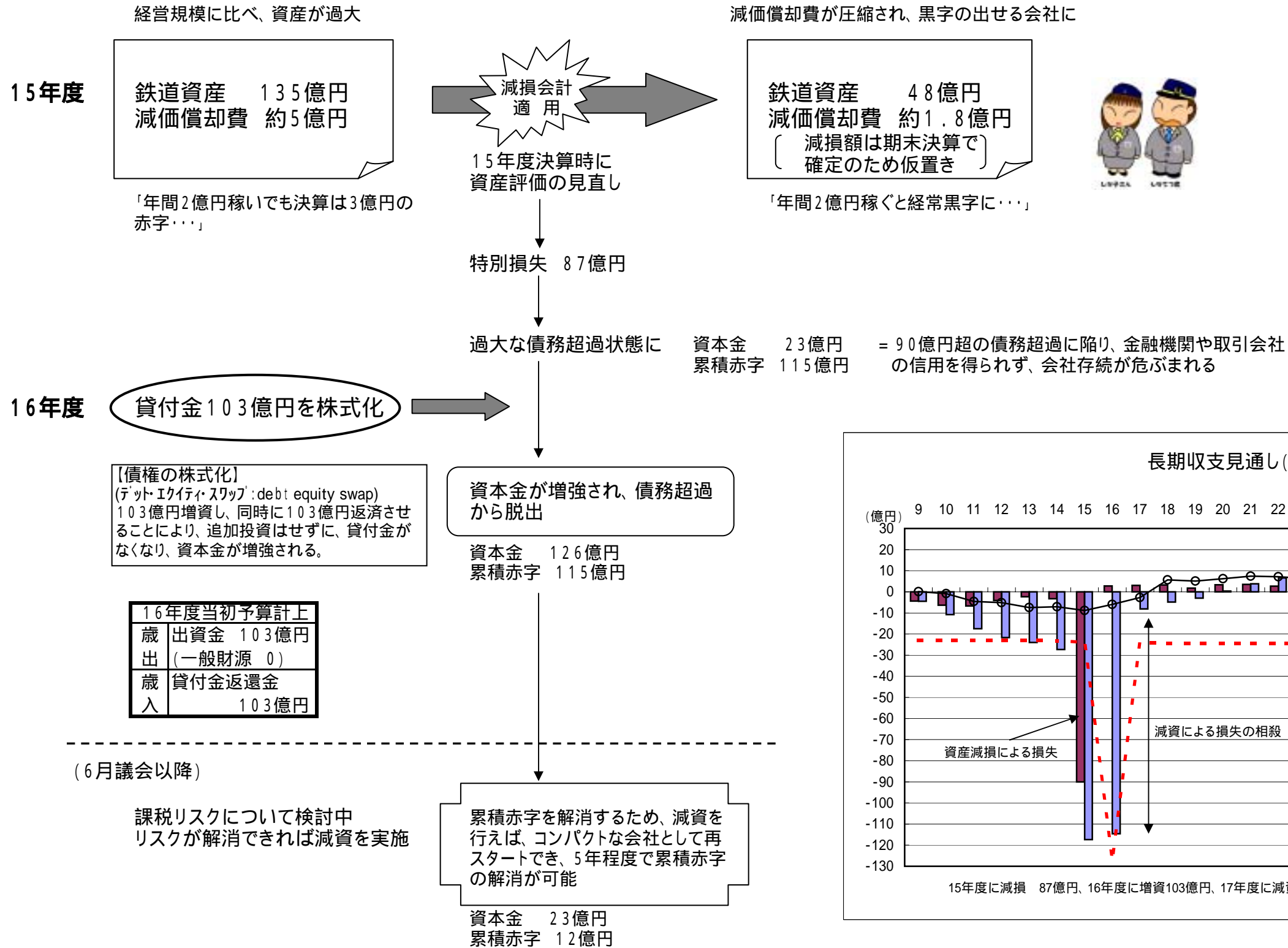


しなの鉄道経営健全化対策事業

バランスシートの改善

企画局 交通政策課
(決算額及び減損額仮置き)

しなの鉄道の経営上の課題は資産の帳簿価格が高く、毎年の減価償却費が過大であるため、資産の評価額を見直してバランスシートを改善する必要がある。
新たに制度化される「減損会計」に対応するために、新基準で資産評価額を見直す。
減損によって生じる大きな損失に対応するため、開業時に鉄道事業用資産を購入するために貸し付けた103億円について「債権の株式化」を行う。



【減損会計】
投資家を保護する目的で、新たに導入される制度。収益に比較して資産が大きく、経営の悪化が見えにくい会社を外見上も適正規模にする。資産の帳簿価格を、将来回収が可能な額に圧縮する。(しなの鉄の場合は20年間に生み出す将来キャッシュフロー額) 17年度から資本金5億円以上の会社に強制適用、15年度から任意適用となる。

